

天竜高校入学おめでとうございます!!よい、スタートを!!

「社会の竜と成り往かむ」これは天竜高校校歌2番の一節。「竜」は1頭で凛として堂々としている。「往かむ」には「成長しよう」「前に進もう」といった意味がある。つまり「天竜高校を卒業、いずれ社会に出たときに竜のように堂々と前に進んでいこう、常に成長していこうとする」人であれ。そんな意味を込めてこのタイトルをつけました。

この進路通信では、君たちが希望する進路を実現し、進路先でも大いに活躍するために、今この時期に何を考え、どんなことを意識して生活していけばよいかを考えるヒントが盛りだくさんです。ぜひ、じっくりと読んで担任の先生からのアドバイスに耳を傾け、成長していただきたいと思います。

高校生活3年間で最も重要な時期は、高校1年生の4月、5月です。

通学距離が変わり、多くの方は中学よりも通学時間は増えるでしょう。中学校よりも質の高い練習をしている部活動も始まります。学習内容も中学校より難しくなります。そこから、逃げるのではなく、高校生活3年間で最も重要な時期である今、どんな意識をもち、何に取り組むべきかを考えて行動しましょう。

学校は勉強するところ。よい学習習慣を身に付けましょう。

授業内容を理解し、理解した内容を定着させる努力をすることが重要です。

勉強が嫌いな人、たくさんいますよね。勉強が嫌いでも悪い成績をとるのは嫌いですよね。そこで勉強する上でのちょっとしたコツを伝授しましょう。**授業を受ける前に早めに席について、前の時間に何を勉強したのかを確認してみましょう。**教科書やノートを見るだけでも構いません。**次にこの授業でどこを勉強するであろうと予想されるところを見ておきましょう。**わからなくても構いません。これはちょっとした**復習と予習**です。**課題が出たら一生懸命にやきましょう。**課題は授業で学習した内容です。わからないときは教科書やノートを確認しましょう。答えを見て写すなどという無駄な作業をしないでください。**休日を有効に使いましょう。**月～金の授業でよく理解できなかった内容を復習するとよいでしょう。**スタディサプリの動画も有効活用**しよう。スタディサプリについてはいずれ指示があります。

日々の生活のリズムを作りましょう。

中学校から、高校へと環境が変わるときはたいへんです。多くの方は通学時間が増え、家で過ごす時間が少なくなります。どうすればよいか。1つ目は、就寝時間を早くして、睡眠時間を確保し、体調管理に気を付けること。2つ目は、何かを犠牲にすること。学習以外のスマホを使う時間、テレビを見る時間。やるべきことがあれば早くやっちゃって、早く寝るということです。スマホでゲームを夜遅くまでやるというのは、最悪です。やるのであれば、節度をもちましょう。また、バランスの良い食事をしっかりと摂り、しっかりとした体づくりに心掛けてください。まだまだ体が成長する時期です。

良い人間関係を作りましょう。

人の良いところに目を向けましょう。「あの人がすごいな」と思ったら、「よし自分もやってみよう」と思って行動しましょう。そうすれば、良い行動がどんどん広がって行って過ごしやすい、より素敵な学校になっていくと思いませんか。人の悪いところを探して非難するのはやめましょう。人の悪いところを見てもその人が気づくまで放っておきましょう。ただし、他人に迷惑をかけた、やっではないけななことを見てしまったら、先生方にちゃんと報告してください。皆が安心して学校生活を送るためです。

まとめ

今までのところを読んでどう思いましたか。「全然、進路と関係ない」と思った人、間違っていますよ。元気よく学校に通えるよう健康管理をしっかりと学校で一生懸命勉強して学力を高める。いろいろな人から多くのことを学び、良い人間関係がちゃんと作れる人間性豊かな人になることができれば、どの社会でも活躍できる人間になれるのではないのでしょうか。裏面にポイントを書きます。

ポイント

1. 学校は勉強するところ。よい学習習慣を身に付けましょう。

- ① 授業内容を理解し、理解した内容を定着させましょう。
- ② 短時間でもよいので復習と予習を意識しましょう。
- ③ 課題は、答えを写すのではなく、自分で一生懸命取り組みましょう。
- ④ 休日を有効に使いましょう。

2. 日々の生活のリズムを作りましょう。

- ① 早く寝て睡眠時間を確保すること。
- ② やるべきことをやる時間を作るためには、スマホやテレビなど、何かを犠牲にすること。
- ③ バランスの良い食事を心掛ける。

3. 良い人間関係を作りましょう。

- ① 人の良いところに目を向け、「よし自分もやってみよう」と思って行動しましょう。
- ② 人の悪いところを探して非難するのはやめましょう。